

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日、米国で注目されていた連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨では、多くの参加者が「量的緩和に伴う資産購入のペースを落とす前に労働市場の一段の改善が必要」との認識を示していたことから、量的緩和の縮小時期が想定ほど早まらないとの思惑が高まり、米国市場では米国債が買われ、長期金利が低下、為替相場では総じてドルが売られる展開となりました。ブラジルについては、FOMC議事要旨発表の前に、中銀が15億ドル規模でドル売りスワップのオークションによる介入を行い、朝方弱含みでスタートし対ドル2.2787をつけていたレアルは上昇、その後揉み合い、最終的には前日比若干のレアル安となる2.2645で引けました。尚、米国時間夕刻のパーナンキ議長講演でも量的緩和に踏み込んだ発言はなく、近い将来の量的緩和縮小はないとの見方が広がっており、本日の日本市場、欧州市場でもドルが売られております。

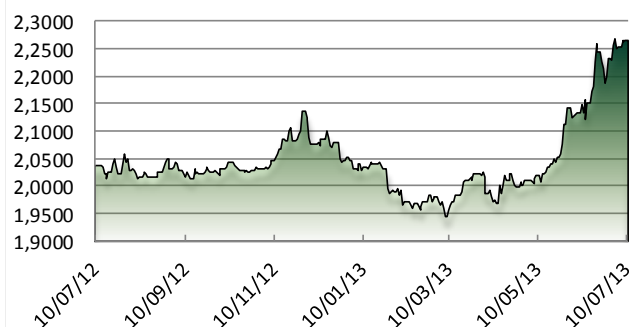
一方、ブラジルの金融政策会合(Copom)では、市場予想通り政策金利(Selic)の0.50%引き上げを決定、同金利は8.50%となっております。今回の決定はメンバー全員一致によるものでした。

マーケットデータ

Indicator	Unit	7月9日	7月10日	前日比	6月10日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	44,76	44,02	-0,74	45,98	-1,96
USD / BRL Spot	BRL	2,2601	2,2645	+0,0044	2,1471	+0,1174
USD / JPY Spot	JPY	101,15	99,68	-1,47	98,76	+0,92
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	45.076	45.483	+407	51.317	-5.834
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	201,1	200,3	-0,8	170,8	+29,5
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	11,04	10,90	-0,14	10,41	+0,49
DI Future Jan14 (金利先物)	%	8,78	8,80	+0,02	8,64	+0,16
3 Months US Dollar Libor	%	0,269	0,269	+0,000	0,274	-0,005
CRB Index (国際商品指数)	Index	283,6	286,2	+2,6	286,5	-0,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

